

海外安全対策情報平成28年度第3四半期（10～12月）

1 社会・治安情勢

- (1) 2016年（1月～12月）の犯罪被害による死亡者数は4,595人であり、前年比－3.7%と微減している。しかし、グアテマラ市内においては、遺体をバラバラにし、その頭部等を路上に置く事件が、10月～12月の間に2件発生しており、市民の感覚としては治安回復とはほど遠い現状である。
- (2) 対日感情については良好である。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) 国家文民警察は治安対策のため引き続き警察官を増員させている。また12月は例年犯罪件数が増加することから、同警察は12月、特別シフトを組んで勤務警察官を増加させた。国家文民警察の発表によると、平成28年10月～12月の当国における総犯罪発生件数は7,447件と前年同時期の8,339件と比較して892件（10.7%減）した。なお、犯罪種別の内訳は以下のとおり。

殺人	1,110件（前年比	3.9%減）
傷害	1,294件（	” 16.7%減）
強盗・窃盗	3,560件（	” 13.4%減）
強姦	155件（	” 6.9%増）
誘拐	2件（	” 80.0%減）
行方不明	916件（	” 6.1%増）
家庭内暴力	410件（	” 19.3%減）

(2) 銃器の蔓延

当国では、銃器が容易に入手できるため、発砲事件も頻繁に発生しており、殺人、強盗、短時間誘拐の殆どに銃器が使用されている。国家文民警察の報告によると、平成28年10月～12月に治安当局が取り扱った殺人事件1,110件のうち、銃器を使用した事件は875件（全体の78.8%）、同じく傷害事件1,294件のうち銃器を使用した事件は811件（62.7%）に達する。殺人事件における銃の使用率は、前年比で2.7%減少しているものの、依然として邦人がこれら銃器を使用した犯罪に遭遇（巻き込まれる）する危険性は極めて高い。

(3) 邦人の被害事案

ア 11月1日午前、ウエウエテナンゴ県トドスサントス・クチュマタンにおいて、「死者の日」のイベントを見学していたところ、チャック付きのポケットからパスポート及び携帯電話を盗まれた

イ 11月18日夜、グアテマラZona 14のレストランにおいて食事をしていたところ、椅子にかけていた鞆から財布のみ抜き取られていたのを、食事が終わって会計をする際に気づいた。

(4) 邦人以外の被害事案（代表的事例のみ）

ア 11月28日朝、ミスコ市Zona 11において、男性のバラバラ遺体の一部が路上で発見され、周囲を捜索した結果、近くのクーラーボックスから、別の男性のとみられる遺体の一部が発見された。

イ 11月30日朝、グアテマラ市Zona 18において、女性の頭部が発泡スチロールの上に置かれていたのが発見された。

ウ 12月9日午前、グアテマラ市Zona 10において、歩行者が何者かによって銃撃され死亡した。

エ 12月19日午前グアテマラ市Zona 10において、2台のバイクに乗った強盗が、タクシーの両側に近づき、両方から銃を突きつけて乗客を脅し、所持品を奪って逃走した。

3 誘拐・脅迫事件

(1) 12月30日午前、在グアテマラ米国大使館に爆弾を仕掛けたとの脅迫を受け、同館は通常17時に閉館するところ、午前11時に臨時閉館した。

(2) 資産家に限らず、一般市民がターゲットとなり、その大半は営利誘拐である。被害を届け出ても犯人に対する処罰や被害の補償を望めないばかりか報復される恐れもあり、犯人に身代金を支払い、警察に被害届を提出しないケースが多い。また、日本人を含む東洋系外国人は一般的に裕福と見られているので、ターゲットにならないよう日頃から注意する必要がある。

4 日本企業の安全に関わる諸問題

脅迫電話及び同メールについては、腹いせやいたずらによるものが大部分であるものの、避難や警察当局への通報などをの処置をすることが肝要である。(了)